

※2026年度の問題を参考として公開しています。2027年度入試の出願者は2027年度問題用紙をご使用ください。

2026年度 津田塾大学

総合型選抜・特別入学試験(帰国生/在日外国人学校出身者/留学生)・社会人入学試験 問題用紙 1枚のうちその1

総合政策学科	科目	現代社会が抱える諸課題に関する論述問題
--------	----	---------------------

国連開発計画 (United National Development Programme) が示す Gender Social Norms Index (GSNI) に関する以下の資料を踏まえ、下記の設問 (1) と (2) に答えなさい。解答にあたっては、下記のウェブサイトに掲載されている Explore Gender Social Norms Index のグラフィック (Percent of people with bias, total and by dimension) と GSNI のレポート (DOWNLOAD REPORT BY LANGUAGE - English) を参照すること。GSNI のレポートを引用/言及する際は参照したページ数を正確に明記してください。例: GSNI は世界価値観調査のデータを用いて計算される (p. 5)。

UNDP (United Nations Development Programme). 2023. 2023 Gender Social Norms Index (GSNI): Breaking down gender biases: Shifting social norms towards gender equality. New York.
<https://hdr.undp.org/content/2023-gender-social-norms-index-gsni#/indicies/GSNI>

(1) GSNI の値が国によって異なる要因について、対話型自然言語生成 AI (ChatGPT) にたずねたところ、以下のような回答が得られました。GSNI のグラフィックやレポートを参照した上で、あなたが考える要因と AI 回答とを比較し、共通点や相違点がある場合にはそれらが発生した理由とともに論じなさい。(500 字以内)

GSNI によると、最も偏見が低い国はニュージーランドであり、男性の 33%、女性の 23% が少なくとも 1 つの偏見指標を示しています。これに続くのはスウェーデンで、男性の 36%、女性の 28% が偏見を示しています。これらの国々は、教育の普及、女性の社会進出、法的平等の実現など、積極的な政策と社会的取り組みによって、ジェンダー平等が進んでいると考えられます。

一方で、偏見が特に高い国々もあります。例えば、ウズベキスタンでは男性の 80.8%、女性の 81.2% が女性に対する偏見を示しており、特に政治指導者として男性が優れていると考える人が多いことがわかります。また、タジキスタンでは、男性の 97.5%、女性の 97.5% が女性に対する偏見を示しており、特に身体的安全に関する偏見が高いことが報告されています。

(2) GSNI を構成する 4 つの要素 (Political, Educational, Economic, Physical Integrity) から 1 つを取り上げ、その要素は日本の GSNI にどのように作用しているか、具体的に他国と比較しながら述べなさい。さらに、取り上げた要素を例として、GSNI を構成する要素の妥当性を論じなさい。(700 字以内)